

今月の特集は、「回復期リハビリテーション病棟の質—ICFに基づいた作業療法」である。2000年（平成12年）に回復期リハビリテーション病棟は誕生した。それは日本独自の仕組みであり、画期的な導入であった。さらに、本特集でも執筆いただいた医療法人社団 輝生会の現会長である石川 誠氏が中心となって、全国回復期リハビリテーション病棟連絡協議会（現回復期リハビリテーション病棟協会）が設立された。あれから18年、回復期リハビリテーション病棟に勤務する新人 OT の数が右肩上がりに増加した。若いエネルギーとパワーをもっているという素晴らしいものの反面、人材育成の課題に直面したこともあって、現場や各団体での新たな臨床教育の検討を余儀なくされた。一方、ADLは作業療法の特化した専門分野であると自負していたものの、病棟へ出向くことが少ない現

状から、診療報酬では「ADL加算」も導入された。これらは、質の担保を問われてきた歴史である。回復期リハビリテーション病棟が、作業療法をけん引してきた側面があるよ

うに感じるのには私だけであろうか。特集のそれぞれの論文は読みごたえがある。なぜなら、その歴史の結果であるからだ。今後の当病棟の展開に期待がかかる。

またニュース速報では、日本作業療法士協会の中村春基会長より「新定義を活かす」と題しご寄稿いただいた。1985年（昭和60年）以来の33年ぶりの作業療法定義の改定である。「作業療法は、人々の健康と幸福を促進するために、医療、保健、福祉、教育、職業などの領域で行われる、作業に焦点を当てた治療、指導、援助である。作業とは、対象となる人々にとって目的や価値を持つ生活行為を指す。」（注釈は5文）何とも深い。「人々の健康と幸福」という目的・価値観までが作業療法の範疇である。責任をもって、目の前の対象者にそのように取り組んでいるかを問いたい。私たちは作業療法士。その責務に対してプライドをもって臨床に取り組もう。私たちにしかできないことがある。未来を創りましょう。

（山本伸一）

編集後記

編集顧問

上田 敏 鈴木 明子 寺山久美子

編集委員

江藤 文夫 香山 明美 澤 俊二 竹内さをり
長野 敏宏 中村 春基 宮崎 明美 山本 伸一

編集同人

朝田 隆	蟻塚 亮二	石川 隆志	伊藤 利之
伊藤 真美	岩井 和子	岩井 邦寿	宇田 薫
沖田 啓子	片岡 靖子	辛島千恵子	菊山 和生
川本愛一郎	来島 修志	岸本 光夫	窪田 静
相良 二郎	柴田八衣子	島崎 寛将	高島 千敬
鶴見 隆彦	中川 昭夫	仲木 右京	西出 康晴
芳賀 信彦	浜村 明德	林 克樹	東 祐二
備酒 伸彦	深浦 順一	二神 雅一	松元 義彦
宮田 昌司	村井 千賀	村上 重紀	柳 尚夫
山口 昇	山根 寛	吉川ひろみ	米崎 二郎
渡辺 誠			（五十音順）

作業療法ジャーナル VOL.52 NO.12 (Nov.)

2018年11月15日発行（毎月1回15日発行）

定価（本体1,800円＋税）

年ぎめ予約購読料 25,400円＋税（送料弊社負担、増刊号含む）

発行 株式会社 三輪書店

代表者 青山 智

〒113-0033 東京都文京区本郷 6-17-9 本郷網ビル

代表 ☎ 03-3816-7796 FAX 03-3816-7756

URL <http://www.miwapubl.com/>

郵便振替 00180-0-255208

（担当：高野、森山）

Email otj@miwapubl.com

印刷所 三報社印刷㈱ ☎ 03-3637-0005

広告申込所 ㈱医薬広告社 ☎ 03-3814-1971

本誌の内容の無断複写・複製・転載は、著作権・出版権の侵害となることがありますのでご注意ください。

Published by MIWA-SHOTEN Ltd.

6-17-9 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo, © 2018, Printed in Japan

JCOPY 〈社出版者著作権管理機構 委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に、社出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。